新春のあいさつ

〈合併二十周年〉躍進の初春を迎えて

村長　金子誠一

村民のみなさん、明けましておめでとうございます。昭和五十四年の新春を迎え、みなさま方のご健勝を心からお祝いいたしますとともに、日ごろ村政に対して、およせいただいておりますご理解とご支援に対し、深く感謝申し上げます。本年も、豊かで住みよい岩室村づくりのために、全力を傾注する所存であります。一層のご鞭撻をお願いいたします。

長びく経済不況下とはいわれながらも、地域社会の変貌や、住民意識の変化などを背景に、町村自治体における行政需要は、ますます量的に増大する一方、質的にもきわめて多様化するばかりであります。従ってこれ等の多岐広範な需要に応えるべく、私共は積極的な行政の推進を図らねばならないのであります。

特に今年は岩室村にとって、合併二十周年という記念すべき、意義深い年を迎えるのであります。人にたとえれば成人にあたります、つまり郷土岩室村の第二段階への発展躍進へのスタートでもありましょう。この二十年間村民各位が営々として村づくりと、住民福祉のために、積み重ねてまいりました幾多の基盤の上に立って、この大きな節目を契機とし、さらに本村の無限の繁栄向上のために皆さんとともに最善の努力を傾けなければ、と年頭に当り心新たにいたしております。私は常に岩室村の現状をふまえ、将来を展望しながら、産業、教育、文化、福祉等、物心両面にわたる、調和のとれた村勢の進展でなければ、と、確信いたしております。

したがって昨年の年頭において、村民の生活信条であり、一般常識として持ちつづけなければならない、人間関係の確立をめざして、村民憲章の制定をいたし、実践活動を願っているところであります。たまたま村民憲章の制定と相呼応して、本村の小中学校が、道徳教育の共同推進校として、文部省の指定云々の話しが持込まれたのであります。しかしこの指定をうけるためには、相当額の出費を伴うことと、先生方には多くの負担と苦労が察しられたのであります。

が、私は敢えてお引受け願ったのであります。この学校当局の二年間にわたる精力的な研究成果がまとまり、貴重な資料として公表され、青少年健全育成のために、大いに役立つものと期待いたしております。

このようなかで、はからずも本村青少年の間に、心痛む不幸な問題が発生した事実もあり残念に思うと同時に大きなショックを受けたのでありますが、その起因を単に社会的風潮に転嫁することなく、それぞれの立場で身辺を見直し、再びこのような不幸な出来事が起きないよう、お互いに心を引締めなければならないと思うのであります。

一方建設事業面においては、道路改良整備、保育所新改築、国土調査の開始、自然休養村事業の完結、文化施設建設への始動等、お約束申し上げその実現に取組んでまいりました。なかでも有史以来かって味わったことのない大規模な水田利用再編対策の実施と、新規に導入した空散事業、加えて六・二六の梅雨前線豪雨による災害の発生等々、極めて困難な局面もございましたが、村議会をはじめ、村民あげての深いご理解とご協力をいただきながら、予定通りの事業消化ができましたことを、衷心よりよろこび厚くお礼を申し上げるものであります。

さらに最も困難が予想された、単年度における二つの保育園の設置と、二万数千平方米におよぶ公共用地取得の問題が、大変順調に進行をみましたことは、本当に感謝に堪えません。ここにあらためて関係の皆様方に深い敬意を表するものであります。

岩室村もいよいよこれからであり、一万村民の期待と負託にこたえるために、総力を結集してまいりたいと思います。村の長期構想については夢がいっぱいあります。この夢を一日も早く村民生活の中に活かすことが急務であり、かつ重大な使命と責任であります。このような認識にたって、五十四年度には次のような行政の取り組をいたしたいと思っております。

完成した間瀬保育園

(一)　新規

1、公民館の建設
2、公民館の建設に附帯した運動広場の造成
3、村道の整備改良
4、農村総合整備モデル事業への取組
5、新時代への農業対策としての農業中核者の研究機関の設置
6、中学校特殊学級の設置
7、丸子山広場の整備
8、ゴミの全村収集への移行
9、母親を中心にした青少年問題への取組
10、合併二十周年式典の挙行

(二)　継続

1、国土調査
2、空散（予定）
3、漁港整備事業
4、海岸保全事業
5、林道建設事業

以上を基本方針としながら合意と参加を求め、村政全般にわたり、きめ細かく推進してまいる所存であります。そして真に明るく、豊かで、住みよい岩室村の建設と発展に寄与いたしたいと念願いたしております。村民各位におかれましても、一層のご理解をいただくと共に、力強いご指導とご支援をお願い申し上げます。

おわりに村民各位のご健勝とご繁栄を祈念して新年のごあいさつといたします。

年頭所感

議会議長　山上一夫

村民のみなさん、明けましておめでとうございます。

昭和五十四年の新春を迎え、村議会を代表し、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年は皆さんにとってはいかがな年でしたでしょうか。それぞれ、種々交々の思いがいたすこととあります。

直接かかわる諸問題については極めて積極的な対応によって、その大半を消化できたものと評価するものであります。

迎えた昭和五十四年は、公民館建設をはじめとする重要事業が山積しており、加えて合併二十周年にあたる記念すべき年でもあります。

村政にあっては、厳しい財政状況を強いられながらも、村民生活に機関との連けい協調を基本としながら、議会が、村民の意志決定機関として、常に村民の側に立って、その機能を果すよう一層の努力をいたしますとともに、豊かで住みよい村づくりのための施策はどうあればいいのかなどの研究等々、私共議会に与えられた使命を再認識しつつ、一万村民の負託に応える決意であります。

村道の整備、念願であった二つの保育園の完成、公民館用地確保等々でありますが、これら広範多岐にわたる重要事業を遅滞なく円滑に推進するため、議会・執行機関との連けい協調を基本としながら、議会が、村民の意志決定機関として、常に村民の側に立って、その機能を果すよう一層の努力をいたしますとともに、豊かで住みよい村づくりのための施策はどうあればいいのかなどの研究等々、私共議会に与えられた使命を再認識しつつ、一万村民の負託に応える決意であります。

何卒、本年も変らぬ、ご支援とご協力をお願い申し上げ、皆さま方の一層のご多幸をお祈りいたし、年頭のごあいさつといたします。

<12月定例議会>

86,258千円を補正

総額1,549,181千円に

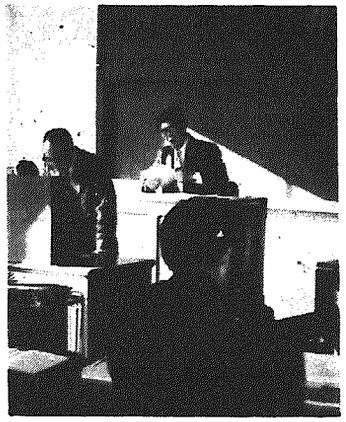
＝一般会計予算＝

昭和五十三年第四回定例村議会は、去る十二月十二日から十三日までの二日間の会期で開会されました。

条例の改正、補正予算、決算認定、村道認定、請願陳情など十九案件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案通り可決成立しました。

可決された主な内容は次の通りです。

○六・二六梅雨前線豪雨災害農作物緊急生産対策事業補助金　三、〇〇〇千円
○水田利用再編推進特別交付金　一三、〇七〇千円
○間伐林道事業費　三、一八一千円
○水産振興資金助成　二、四〇〇千円
○林道用地購入費　一、五二六千円
○除雪対策費増分　三、四四二千円
○小学校々舎営繕費　一、一二八千円



○公民館建設費埋立外　一三、八二五千円
○村民体育館サッシ窓補修工事費　一、〇〇〇千円
○農業用施設災害復旧費　一六、五四六千円
○一般職員給与費　一三、八〇四千円
○一般職員共済組合退職手当組合負担金　二、四七三千円

◇国保会計
予算総額　三一七、二三一千円

◇水道事業会計
予算総額　八五、〇〇三千円

◇農業共済事業会計
予算総額　五七、七九二千円

◇温泉集中加熱事業会計
予算総額　六六、四三〇千円

岩中、本間義広君など八名の研究に優秀賞

～科学研究発表会　中学の部～

岩室中学校二年本間君ら八名のグループで研究を続けていた針穴写真機の研究がみごと優秀賞を獲得しました。

その内容と喜びを寄せてもらいましたので紹介します。

「ウァー写ってる」最初の感激が子どもたちをひっぱっていったようです。

―針穴写真機の研究―

暗箱に針で穴をあけただけで、ほんとに写るのかしら。

理論上では誰れでも知っていることなのに、実際に写してみたことのある人はまれでしょう。

子どもたちも、はじめての経験でした。写真に写った校庭の風景をみて感激したものです。

あとは光の研究を深めるため、仮説をたててその検証のための作業をすすめました。

真夏の太陽の下、みんなへばりながら撮影、一枚撮影するごとに現像するのですが換気扇もない暗室は、四十度近く。一・二分の作業で体中から汗がふきだしてきます。

苦労も多かったけれども、一つの研究を成しとげた後の充実感が子どもたちにまた次の研究への情熱をはぐくんでくれれば……とうれしく思っています。